

## 少子化時代に生きて

空知医師会  
小林産婦人科医院

### 小林 公民

高齢、少子化時代と言われて久しい。町を歩いていても、子ども、幼児たちに出会うのは少なくなってしまった。出会うのは年寄りばかり（人のことは言えないけれど）。私（昭和10年1月2日生まれ、一応昭和2桁）の子ども時代は、兄弟5人以上の家族は当たり前、ほとんどの人は貧しく、物質的な欲望に飢えていた。考えてみれば、周りには豊かな自然が溢れていたのであるが、そういうものに目を向ける心の余裕はほとんどなかった。

私は小学校から高校と岩見沢だったので、実質的には岩見沢出身だが、母の実家が歌志内で、そこで里帰り出産で生まれた縁もあり、砂川市立病院に一人医長として赴任し、6年7ヵ月後、砂川で開業して46年、今年の11月30日で満53年となる。あと7年生きると、文化の日に砂川市より永住功労者として感謝状を贈呈されることになっているので、まずそれまでは頑張るつもりだ。お墓も両親が砂川に建ててくれたので、いずれ砂川の土になると思うが、肝心の息を引き取るのは、自宅か砂川市立病院の個室になるか考慮中である。

小学校の頃、車窓より見た、砂川市豊沼の田んぼの上に、東洋高压の銀色に輝くドーム状の容器がずらり並んでいるのは壮観であった。日本の硫安の7割がここより出荷されていた。いわゆる高度成長時代の実感はあまりない。ちょうど第2次ベビーブームに当たっていて、本業が忙しかったのと、私自身外車には全く興味がなく、下駄代わりに気軽に乗れる、丈夫で安価な国産車で十分満足している。旅行も好きではなく、海外旅行も息子の結婚式でグアムに一度行ったきり。おまけにそこで、どう考えてもよく分からないのだが、ガラケー（スマートフォンではない）を紛失した。今度うっかり出掛けたらテロに遭うかもしれないので、北海道の片隅にじっと潜んでいるつもりだ。

何はともあれ、高度成長時代を跨いで、日本人の生活水準が飛躍的に向上したことは間違いない。母親教室でいつも「私が子どもの頃、岩見沢で、ピアノと自動車のある家は片手以下、今はピアノと自動車のない家が片手以下」と話していた。ともかく、豊かになったのは間違いない。それ故、子にかかる費用は莫大となり、とても3人、4人は無理となる。現在はもう結婚適齢期という言葉はないと思うが、

女性には出産適齢期がある。新しい命を比較的安心して産めるのは、昔は30歳まで、現在でもできれば35歳ぐらいまで、現実には40歳の産み始めも当たり前となりつつある。一人っ子が多くなるのもやむを得ない。また現実の生活で、当座のお金が不足でも、ローンで揃えられるのがまた悪い。ローンには高利が付いているのを忘れてはいけない。あっという間にサラ金地獄となりかねない。昔テレビで「いつもニコニコ現金払い」というのがあり、それを守っていたのだが、今はカード払いの方が喜ばれると聞いて驚いた。

適度の成長は確かに望ましいのだが、いつの間にか加熱し過ぎ、膨れ上がったバブルはいつか弾けてしまう。バブルの渦中に巻き込まれると、人間は狂ってしまうのだろうか、その頃の計算では日本の時価がアメリカ合衆国より高価だったというから驚きだ。真面目に信じていただろうが、バブルが弾けて本当に被害を受けた人は、金融のプロではなく、プロの言葉を信じてなけなしのお金を投資に回したアマチュアの方々だろう。その人たちには一銭の補償もない。プロの人は銀行が潰れたといっても合併して生き延び、実質的な被害はあったのかなかったのか、ただ当時の責任者は今どうなっているのか分からない。無罪放免はなく、大部分の人は被害を受けたと思うが、その中で、バブルで儲かった分を、さっとほかの価値ある物に変えて、規模を大きく発展できた成功例もある。ほかならぬ日本医師会館もその例と思う。その当時、東京の超一等地にあった前の医師会館が手狭となり、改築の話が持ち上がり、こちらにも奉加帳が回ってくると覚悟していたのだが、なんと土地を売ったお金で東京都内に前よりはるかに広い土地を確保し、大きなビルを建て、なお余ったというから驚きである。そろそろ手狭になる頃だが、こんな美味しい話はもうないかもしれない。私としては、バブルで得はしなかったが、損もなかったので、上々だろう。

私が子どもの頃、少子化の先端の国はフランスだった。当時最貧国で、子だくさんの日本に生きていたわれわれとしては、半ば羨望に似た複雑な想いで眺めていた。現在の日本は、当時のフランスより出生率は低下している。これを戻すには、個人の力では絶対無理。国策として、フランスと大体同じことを行えばよい。①夫婦別姓でもよい。権利も義務も同じ②未婚、既婚問わず、子ども一人につき同額のお金を給付する。3人以上も生めば左団扇とか③未成年の間、義務教育、保育所、病院等は無料。（詳しく調べていないので、細かい点は異なると思うが）例えこれだけをして、出生率2までには20年以上はかかる。どっちみち日本の人口は減る一方だが、なんの心配もいらぬ。地球上には人類が溢れている。移民定住の希望者を募れば、いくらでも来ると思うが。